

2019年 第1回運営推進会議

2019年5月9日(木)
地域密着型介護老人福祉施設
越谷なごみの郷

1. 運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「囲い込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならない。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを「事業所と地域住民とが一緒に育てていく」ことを目的に行っていく。

2. 介護老人福祉施設

【運営状況報告】

● 介護老人福祉施設 3月8日～5月8日までの入居・退居状況

入居者	退居者	在籍者
1名	1名	29名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
84.3歳	3.80

●人員体制 人員配置基準(2.5 : 1)

入職者・異動職員	退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数
入職者=3名(派遣社員)	退職・異動者=2名 (5/9に1名 5/20に1名)	18名(2.8:1) (フロア責任者、施設CM、育休者を含む)

● 事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内容
事故	2件	① 配薬忘れ ② 左手甲骨折	① 5/4 昼食前の薬の配薬忘れあり。職員間の引き継ぎ、確認のミスが原因であった。入居者に異変などなし。 ② 5/4 左手の甲にアザを発見。受診後、骨折が判明。入居者の利き手は左手で、入浴時・排泄介助時・移乗介助時など左手が巻き込まれたり、ぶつかったりする等の可能性がある為、支援方法および介助方法の変更を図る事とした。
苦情	なし		

● 教育・研修等

災害時訓練前研修 (5/23・5/29)	6月に予定している災害訓練を効果的な物にするため、消防署員を講師に招き、基礎知識や避難方法について学ぶ。
-------------------------	--

※ その他、今年度も法令に沿った研修を実施予定

【活動状況・予定】

活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・花見を兼ねた外食の実施。(一部の入居者) ・家族会 従来型特養と合同で、看取りをテーマに各専門職がなごみの郷での看取り介護のあり方について話し、その後それぞれの部署に分かれご家族と看取り介護についての質疑応答などを開催した。 ・機械浴槽の購入 地域密着型介護施設がオープンしたと同時に使用を開始した機械浴槽だが、入居者からは「怖い」などの不満が、職員からは常々介助のしづらさが指摘されていた。購入後、入居者・職員共に不満が激減し、入浴においての満足度が向上した。
------	--

3. 認知症対応型デイサービス

● 3月8日～5月8日 までの状況

新規利用者	契約終了者	在籍者
1名	1名	21名（男性2名・女性19名）

●平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
80.0歳	3.3

●認知症高齢者日常生活自立度

自立度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	3	5	3	3	1	3	3

I	「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している状態」 基本的には在宅で自立した生活が可能なレベルです。
II a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態」
II b	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態」
III a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが主に日中を中心に見られ、介護を必要とする状態」
III b	判断基準「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが夜間にも見られるようになり、介護を必要とする状態」
IV	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態」
M	「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする状態」

●職員体制

入職者・異動職員	退職者・異動職員	職員数
入職者＝0名 異動者＝0名	なし	6名 (管理者、兼務職員、運転職員含む)

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内容
事故	0件		ヒヤリハット2件 ・全身に掻痒感のある女性利用者が入浴中に掻きむしってしまうことがあった →手袋型の洗身タオルを着用して頂き、掻き傷が防げるように対応 ・車椅子乗車中の女性利用者が送迎車から降車する際のリフト操作中に立ち上がろうとされた。 →シートベルトをリフトが地面につくまで外さない対応

●教育・研修 予定

感染症予防研修	・感染症についての学びを日々の業務に活かすことができる
災害訓練事前研修	・災害訓練に向けた研修
災害訓練(6月予定)	

【活動状況・予定】

生活動作機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人が役割を持てるように活動内容の提供を行う (買い物、調理活動(食事の準備、片づけ等)、その他家事活動) ・洗濯物(タオル等)を干す事等行っている ・字を書く事ができる方は、書き続けられるように当日の献立を書く機会をつくっている
身体機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の身体機能に合わせた機能訓練の実施している ・館内散歩や買い物活動への参加により歩行する機会を増やす事を実施している ・天候のよい日には、歩いて外を散歩する機会を増やしている ・年始は、歩ける方は職員と歩いて近所の神社に行った
・認知症介護の専門性を追求していくために必要な知識、技術の習得を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ユマニチュードについて 「見る、話す、立つ、触る」ことについて学び、日々の業務に活かしていくことについて話し合いをした。